

新年のご挨拶

副代表理事 西角井 正 大



西角井正大

昭和38年文部省文化財保護委員会無形文化課文部技官、昭和41年国立劇場芸能部制作室演出室主査、平成7年日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長、平成9年日本大学芸術学研究所非常勤講師、平成10年実践女子大学文学部教授、平成15年NPO法人邦楽指導者ネットワーク21副代表、平成16年国立劇場おきなわ運営財団理事。

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお過ごしのことと存じます。

わがNPOも、それぞれにより成果を挙げてきて、継続を期待しておりました「子ども教室」が、事業仕分けとやらで、本平成23年度で廃止処分となってしまいました。残念・遺憾というより慙愧の思いです。しかし、片やわがNPOには発足当初から「ミュージック・ナイチンゲール」という活動方針があって、各都道府県支部に所属されている会員の各グループ単位で活動を推進していただいているところで、有難く思っています。「ミュージック・ナイチンゲール」は会員各位の演奏活動だけでなく、「子ども教室」のような初級教育の場や、一般の人々への普及活動、伝統保存・継承と創造の啓蒙と実践等を目的にしているわけです。もちろん各会員相互の活動を刺激剤として技量の向上や親睦にも役立って、わがNOPの存在観を高めているところです。

♪毎年5月はミュージックナイチンゲール活動月間です♪

「ミュージック・ナイチンゲール」の名付け親は私だったのですが、発足当初、会としての統一的な活動を立てるに当たり、名称が要るだろうということになって、とっさに思い付いたのでした。

クリミア戦争（1853～1856）で敵味方の差別無く負傷兵の看護に愛と誠をつくして当たったというフローレンス・ナイチンゲールの名を知らない人はまずいないので、その仕事ぶりがわがNPOの信条に合っているし、名声にもあやかれるだろうと思ったわけでした。それにもう1つ、ナイチンゲールは春秋の朝ばらけや夕ぐれに、また月光の下で美しい声で鳴きますので邦楽実演家の会に向いていると思ったのでした。フローレンス・ナイチンゲールは伝記がありますが、クリミア戦争と一緒にネット検索してみてください。無償はいけないとか、現代に通ずる思いも寄らぬようなことをいろいろ気付かされて、刺激を受けるでしょう。刺激を受けることは大切です。刺激を発信することも大切です。「ミュージック・ナイチンゲール」を通じて世の中に邦楽の刺激を発信しましょう。

沖縄支部の活動



H22.7.9 裏添市特別養護老人ホーム ありあけの里にて



H22.11.7 浦添市茶山自治会創立40周年記念式典にて

ミュージック ナイチンゲール 活動報告

Music
Nightingale

下地 華峰
伊良波 咲峰

特別養護老人ホーム、指定委託介護支援事業、生きがい型サービスを行っている施設で、毎年箏、大正琴、日本舞踊、琉球舞踊を盛り込んだ慰問活動をして15年になります。ホームの皆さんと職員のかたも一緒になって1時間を唄って踊って、最後に全員でカチャーシーで締めくくります。またアドベンチスト・メディカルセンターや那覇市

沖縄支部 峰の会



平成22年12月18日
「伝統文化うらぞえ
箏こども教室」

うらぞえぐすく

児童センター「おたのしみ会」にて

お作法もしっかり
出来るようにな
りました。

下地華峰



那覇支部 咲峰の会



平成22年2月21日
「伝統文化豊見城
箏こども教室」

豊見城市

障害学習フェスティバルにて

こども達が堂々と
演奏してくれた
ので心強かつ
たです。

伊良波 咲峰



のオリブ山病院のホスピス病棟で慰問演奏もやらせていただいております。静かに聴いておられる方、静かに口ずさんでおられる方、ベッドで横になって聴いて下さっている方、人生の最期を迎えるホスピス病棟でほんの少しの時間ですが、患者さんたちがお琴の音色で癒されることを願って毎年お訪ねしております。沖縄では琉球箏曲が主流で、日

本箏曲が普及しておりません。もっと日本箏曲を広め、この活動を次世代の子ども達に受けついでほしいと、平成21年度より、文化庁委嘱の「伝統文化こども教室」もやらせていただいております。子ども達や保護者の皆様からも継続を強く要望されております。

沖縄支部・那覇支部にこれからもご支援をよろしくお願い致します。

各地からのミュージックナイチンゲール活動の報告

福岡県北九州支部



芦屋中央病院への慰問演奏を5月のミュージック・ナイチンゲール月間に行う予定でしたが、病院の都合で9月16日に実施いたしました。車椅子のお年寄りの方々が、目を輝かせて喜んで下さり、アンコールも出るほどでした。最後は「浜辺の歌、四季の歌」などを一緒に口ずさみ充実したひとりで、病院からも大変感謝されました。

アンサンブル福岡 東島啓子



東京都狛江支部



6月27日(日) 狛江琴こども合奏団の有志6名が狛江市特別養護老人ホーム「こまえ苑」で訪問演奏。2名ずつの演奏と全員での演奏そして、ゆかたを着た孫、ひ孫のような子供達が一心不乱に演奏する姿においちゃんおばあちゃん達は大喜びでした。「また来てね!」の声にのりこりと頷いたこども達の顔はやさしさに満ち溢れていました。 箏曲正音会 渡辺正子



山口県下関支部



下関市内小学校教育委員会の呼びかけにより「箏と尺八」12校を尺八山崎笠山先生と会員5名で循環演奏しました。写真は「ほかほか交流〜子どもといっしょに大人も育とう」というタイトルで12月5日に「市民ボランティアのつどい」に出演いたしました。

アンサンブル山口 松崎妙子



熊本県菊池支部



平成22年9月17日元気よく歌う人、踊る人、指揮をする人、ベッドで寝て安静を保ちながら聴く人とバラエティに富んだ会場での演奏でした。「初めてお箏の生の演奏を聴くことが出来、冥土へのよかおみやげが出来ましたばい」98歳のおばあちゃんの笑顔が可愛らしく印象的でした。

介護施設ハロの家にて
アンサンブル渡里夢 渡 雪美



静岡県富士宮支部



白糸保育園のクリスマス会に今年も12月9日に訪問しました。園児が打楽器を手にディズニーメロディと一緒に合奏したり、クリスマスメドレーをお箏と一緒に歌いました。園児たちは毎年楽しみに待っていてくれます。

アンサンブル富士宮 佐野妙子



愛知県千種支部



平成22年11月13日(土) 社会福祉協議会フェスティバルにて名古屋千種区社会福祉協議会在宅サービスセンター内の「秋祭り」で演奏させていただきました。お客様から「やっぱり、お箏はいいねえ」「バイオリンが聞けてよかった」等と声をかけていただき地域の方々に楽しんでいただけたようで良かったです。

箏曲明由の会 山本明由子



広島県安佐支部



9月、「ひろしま国際プラザ」にてアジア各国から研修に来られた人達に日本の伝統楽器箏・尺八の演奏を聴いていただき、やすらぎのひとときを過ごしてもらいました。最後に参加者40人全員に箏の弾きかた、尺八の音の出し方を体験してもらい大いに楽しんでもらいました。

玄恵会 西本恵子



福岡県福岡市



私たちの箏コンサートをきっかけに始まったアフリカと日本の文化交流会が10年目になり、思い切って西アフリカのナイジェリアに、第4面と茶・書道具、着物など持てるだけを引きつけて国際交流と演奏に行ってきました。島国と大陸は、文化も肌の色も(静)と(動)ほどの違いはありますが、音楽の原点といわれる打楽器とのコラボもあっという間に溶け込み、箏を教え(さくら)と一緒に歌い、花笠音頭、炭坑節を踊りだし〜と七千人もの人たちに日本文化を紹介できて誇りに思った素晴らしい経験でした。

アンサンブル早良区 村瀬ひとみ



東京都調布支部



2010年9月22日多摩川の河川敷に面した土手で、第3回多摩川名月祭に、10月30日調布市こころの健康支援センターでの第11回布田わくわくひろばまつりに呼ばれて、演奏をいたしました。二重奏を中心に参加者との合唱で、とても喜んでいただきました。メンバーは地域の住民と中学生の8人です。

平成尺八塾 門傳良男



新潟県新発田支部



介護老人施設「紫雲の郷」でバースデーコンサートを行いました。「さくら」や「春の海」の演奏の後、「ふるさと」や「赤とんぼ」等の童謡を介護の方やボランティアの皆さんと一緒に箏の伴奏で歌い、楽しかったと感謝の言葉をいただきました。

箏曲翔の会 坂田翔祐



東京都仙川支部



調布市内にありますデイサービスに、慰問演奏に行かせて頂きました。渡辺泰子先生編曲の「歌いつく日本の歌」の楽譜から数曲演奏まして、デイサービスの利用者の方と手拍子をしたり、一緒に歌をうたいながら、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

箏曲あさの会 望月亜紗子



神奈川県相模原支部



3月にボランティアセンターに登録し、介護老人施設グリーンヒル相模原から依頼があり、6月13日(日)訪問。皆さんに分り易い選曲をし、演奏に合わせて歌ったり、手拍子をしてもらい、会場一体となって楽しく出来ました。アンコール要請があり、準備をしていなかったのですが、最初の曲を演奏して終わりました。

さきみ尺八の会 高松胞山



山梨県北杜市



風光明媚な北杜市にある老人施設を訪れた日の写真です。昔懐かしい曲を共に歌ったり、手遊びをしては、楽しく過ごしてきました。別れるときの孫を見るようなやさしい眼差しがとても印象的でした。

花手まりの会 小山園美令



東京都調布市



演奏の合間に介護されている方に、琴にふれてもらうことをしている。ほんのひとときだが、この時間を楽しみに待っている人がたくさんいる。その人々が琴を弾いているときやひき終わった後の笑顔が素敵だ。

琴仲間 石森康雄



岡山県玉野市



今年は老人施設9回、病院1回訪問演奏しました。箏と尺八の曲は季節に応じたやさしいものを中心に演奏し、その後なつかしの歌謡曲を尺八で吹き、入所の方に一緒に唄ったり、手をたたいたりして喜んでもらっています。

尺八 藤原匠山



京都府京都市



3月22日京都市北区紫竹児童館にてお弟子さん・音楽仲間と、演奏した時の写真です。様々な場で那楽の響きを伝えたく、結成した琴音(コト音)クラブです。音を通して多くの方に笑顔と感動を提供していきたいです。写真の一番左端(三味線)が私です。

琴音クラブ 近藤純子



母の事、七声楽院の事

仲 林 光 子

創始者
鈴木いね子



鈴木いね子、明治43年1月1日生まれ、13人姉兄弟の11番目である。昭和32年、独自の指導法（階名唱譜学習法）を創案し、東洋音楽界の権威田辺尚雄氏に免状の下附を許された。作曲活動に励み、生涯現役で舞台をつとめた母の人生を娘の目から振り返ってみたい。

《10代》19歳で父（鈴木敬夫）と結婚。父の転勤で博多へ行った折、筑紫歌都子氏と出会いがあった。2年師事。音楽的に大きな影響を受けている。この頃、歌が大好きだった母は、縦書きの楽譜にドレミファと階名をふり、メロディーを何回も歌いつつ、音楽を体にしたき込む事を自分流に行っていたようである。

《20代》東京に戻って、縁あって宮城道雄氏にわずかの期間であったが師事する事ができた。幸福な時間であったと思う。生前、

母は宮城道雄先生の演奏を聴いて、その音色がどれだけ素晴らしかったかを何度も語ってくれた。「光子は聞けなくて残念だったね……」と。

《30代》その後3人の子育てと姑の世話で音楽生活は絶たれてしまった。

《40代》私と母は38年の年の差がある。兄が二人いるが、男は生活があるからあまり音楽に夢中になるのはいかななものかと、父からブレーキがかかっていた。そんな訳で、私が生まれたときは、待ってました！とばかり母は行動に出た。私が4歳になるのを待って箏を教え、東邦音楽学校専科に歌を勉強させるため連れて行った。私は当時、想像を絶するほどの恥ずかしがり屋で、人前で歌う事などとてもないと思っていたので、歌の発表会ではろくに口も開かずして、いつも母に怒ら

れていたのを思い出す。

母方の祖父は高橋龍雄^{みたけ}という人。出雲の美談神社の15代目の神主の職を甥にゆずり、東京に出て勉学に励み後に大学教授の職に就いた強者である。田辺尚雄氏と友人であ

ったご縁が結ばれて、今の箏曲七声楽院が創立されたことになる。高橋の先祖には、宮中に入内りして琵琶（あるいは箏？）を弾いていた人がいたと聞いている。

《50代、60代～99歳》現在遺作として残されている曲は、ほとんど50代60代に書かれたものである。戦争や幾多の困難を乗り越えてきた音楽活動もとぎれがちであったと推察される。そんな人生に流されることなく、ひたむきに曲を書き、想いを貫いた母の根性はアツパレと言えらるだろう。もともと、父や兄たちにとってはごく平凡な妻、母であってほしかったであろうから、忍従の日々？いや心優しい父や兄たちは母を理解して協力してくれていたに違いない。本当に有難いことと感謝している。そんなわがまま人生をやり通して、平成21年2月1日、鈴木いね子逝去。

《今の七声楽院》七声とは中国でドレミファ……の階名のこと。今、私は後継者として、3代目に当たる娘の利恵と箏曲七声楽院を守っている。教授所は東京（巣鴨）で、箏、三絃、篠笛、みさと笛、神田囃子の太鼓と笛を指導している。群馬前橋と神奈川秦野にも教授所がある。また東京中央区立阪本小学校で邦楽全般を教えている。毎年曲を書き、子どもたちの演奏でTBS子ども音楽コンクールの優秀賞を何度もいただく



仲林光子

栄誉を得た。音楽教諭小野敬子氏の情熱が、私の背中を押してくれたのだと思う。指導を助けてくださる方々の力も多大であった。

そんなこんなで、箏曲七声学院の2代目である私は、主人（仲林正伸）の大きな協力を得て年間3万キロを車で移動して、人と人をつなぎ指導を続けている。演奏家としても作曲家としても、まだまだ進化できると自分で勝手に決めて、車で移動中も練習しながら欲張りな人生を突っ走っている。

これが自分に与えられた使命であろうと、心が揺らぐことは無い。パワフルに成長を続ける娘、利恵を見守りながら、私も母に見習って生涯現役で舞台に立ちたいと強く強く願っている。今年も元気で活動して良い年を重ねていこう。邦楽を愛する人たちがたくさん集まってくれと良いなあとも夢を描きつつ。

（平成22年
12月15日記）



仲林利恵



昭和34年12月6日 ときわ旅館にておさらい会
田辺尚雄氏より免状の下附をゆるされてまもなくの頃、宮城道雄先生の写真を持っているのが箏曲七声学院創始者 鈴木いね子
93歳・97歳でCDリリース
H20. 9. 7 白寿記念演奏会を開催
H21. 2. 1 長寿を全うし99歳で逝去

2001年、私はフェリス女学院・生涯学習課（男女共学）で社会人学生たちのためのウタの教師になった。

動機は、90年代に様々な御縁で垣間みた高齢者用の施設や催事での「音楽／学習」環境への不満。例えば、年寄りには何となく「唱歌」や「童謡」や「演歌」を（大概是乱暴な電子楽器の伴奏で）皆で歌わせておけ、という風潮があった。いろいろ現実的な理由はあろうし、これが音楽療法の 일환と言われれば一概に否定もできなかった。が、私はイヤだ。音楽の軍事教練みたい。歌いたい声、歌いたくない声、個々の声が丁寧に顧みられない空間は居心地が悪かった。私だって年を取る。あと20～30年生きた挙げ句、待っているのがこの環境なんてゴメンだ。とは言え、高齢者の音楽／学習環境を変えよう、と社会運動を起こすほどの意志も他者への奉仕精神も持たない私。ただ、どうせ行く道。ならば自分がその「年頃」になった時に在って欲しい環

境を、せめて自分の歩く道幅分ずつ今から開拓してゆこう、20年もやったら自分一人の身が収まる程度のスキ間は耕せているはずだ、と考えていた。この教室では、老年期のみならず、ホルモン変化による女性の変声期とも言える更年期の声、やはり女性ホルモンに関係するウツ、二ホン語と音声の問題、この国の音楽教育や情報によって何十年となく馴染んで来た日本の声の音楽世界の無理・矛盾等が、我が先達でもある「生徒たち」によって次々と問題提起される。ヘボ教師が彼らに教える請いつつ問題解決に悪戦苦闘するケツタイな授業風景が、10年も続いている。

5年前には、社会問題化しているウツ病を薬以外の方法、自分の「呼吸法」で改善しようという有田秀穂氏（医学博士、大脳生理・セロトニン研究）に出逢い、歌の呼吸法で実験に御協力しながら、この4月から有田先生主宰で立ち上がった「セロトニン道場」

の講師として、患者さんと御家族やトレーナーの方たちにウツ状態の脳を活性化させるウタを教えている。と言うか、これも実は我が学習の場。

さて現在、私は更年期の失声期で、黄斑変性症（という目の病気）の平衡感覚失調で、ここ数年、歌手としてはドン底の屈辱を味わい続けて、時々には自分がウツである。でも、生涯学習課の「生徒」の一人はその後、児童養護施設を立ち上げ、早速、学園主催の子供たちとのコンサートに歌手として私を招んでくれる。また、10年前に「変声期」の指導に立ち会った「生徒」たちは、今元気に歌って活動している。「セロトニン道場」の「生徒」もいる。この人々がいつの間にか私自身の歌の、また声の鏡となって私の現在を反映しながら、私の人生の自画像を支えてくれているのに気がつくこの頃。意外に、このドン底はとても明るい。ナイチンゲール（ウグイス＝歌手）の現況レポートである。

音楽家
きむらみか



第8回 九十九里合奏講習会について

第8回目となる平成23年は、前回と同じく千葉県九十九里、

白子温泉で **6/18~6/19** に開催されます。

おかげさまで、昨年12月の時点ですでに90名近い参加お申し込みがあり、また活気あふれる楽しい合宿講習会となりそうです。

今年はなんと

藤原道山先生による

「箏の特別講座」「尺八指導」

田村拓男先生による

「指揮指導」「尺八講座」「リズム教室vol.3」

と、ますます充実したプログラムとなっております。

参加者によるコンサートでは、今年も多くの支部よりお申込みをいただいております。心躍る素晴らしい演奏会が期待されます。

今回も支部合同での演奏曲をいくつか検討しておりますが、

その中の1曲 **水川寿也作曲『SAKURA』**には、藤原道山先生にもご賛助いただく予定です。

現在、箏Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、17、三Ⅰ、Ⅱ、尺Ⅰ、Ⅱ(若干名)の出演者の募集も致しております。お一人でもご参加可能ですので、ご希望ございましたらお早目に各支部長へお申し出下さい(定員あり)。

美肌の湯の温泉に、美味しい新鮮な海の幸、心地良い風薫る宿といったなかで、皆様と音楽について語らい、楽しいひとときを過ごせることを、今から楽しみにいたしております。



九十九里合奏講習会運営委員 小林 千恵子



平成22年
第7回合奏講習
会の様子です。

小・中学生も
参加しようよ。
楽しいよー!



賛助会員のご紹介 (NPOへのご支援誠にありがとうございます!)

山形県	彩音会 代表 菅原綾子 東田川郡	埼玉県	日本文化体験の会 代表 戸塚順子 さいたま市	愛知県	夢の会 代表 田代せつ子 調布市	福岡県	知啓会 代表 東島啓子 北九州市
	スミ井邦楽器店 代表 墨井富士男 鶴岡市		(学)小牧幼稚園 園長 小林牧江 越谷市		平成尺八塾 代表 門傳良男 調布市		箏曲かなの会 代表 緒方加奈 北九州市
新潟県	理音会 代表 高橋理香 加茂市	神奈川県	(株)サトウ楽器 代表 佐藤松夫 春日部市	大阪府	箏曲あさの会 代表 望月亜紗子 調布市	熊本県	(有)福岡あこや 代表 橋本潤三 福岡市
	箏曲和音会 代表 片野由弥 南蒲原郡		美音会 代表 大江美恵 横浜市		桑都の会 代表 小林千恵子 八王子市		熊本お琴教室 代表 古川郁代 熊本市
	箏曲翔の会 代表 坂田翔祐 新発田市		さがみ尺八の会 代表 高松義貞 相模原市	兵庫県	箏曲恭音会 代表 坂本恭子 品川区		アンサンブル渡里夢 代表 渡 雪美 菊池市
福島県	中嶋和楽器店 代表 中嶋由直 上越市	東京都	宮城野楽器店 代表 白澤 功 川崎市		桐の会 仲林光子 中央区	沖縄県	阿蘇支部 代表 遠山豊子
	桐音会 代表 後藤札子 須賀川市		箏曲幸音会 代表 木村幸子 狛江市	広島県	明鏡和楽器 代表 渡辺 譲 墨田区		(個人)西紀美子 熊本市
山梨県	山形屋琴三絃店 代表 日原 仁 甲府市	静岡県	箏曲多摩の音会 代表 渡辺 実 狛江市		夏音会 代表 小笠原夏美 町田市		峰の会 代表 下地華峰 浦添市
	花手まりの会 代表 小山令子 北杜市		箏曲正音会 代表 渡辺正子 狛江市	山口県	箏曲妙の会 代表 佐野妙子 富士宮市		咲峰の会 代表 伊良波咲峰 那覇市